

大 阪 大 学
大学院情報科学研究科
令和7(2025)年度4月入学
博士前期課程 学生募集要項
(一 般 選 抜)

この募集要項は、令和7年4月入学博士前期課程に関する7つの入学試験のうちの○印に該当します。

	入 学 試 験 の 名 称
○	令和7(2025)年度博士前期課程(一般選抜)
	令和7(2025)年度博士前期課程(社会人対象特別選抜(情報基礎数学専攻))
	令和7(2025)年度博士前期課程(推薦入学特別選抜)
	令和7(2025)年度博士前期課程(学部3年次学生を対象とする特別選抜)
	令和7(2025)年度博士前期課程(外国人留学生対象特別選抜・夏季)
	令和7(2025)年度博士前期課程(外国人留学生対象特別選抜・12月)
	令和7(2025)年度博士前期課程(インフォメーションテクノロジー-英語特別コース)

令和6年3月

1. 情報科学研究科教育目標等について

〔情報科学研究科教育目標〕

大阪大学は、「知の創造、継承及び実践」を使命とし、「地域に生き 世界に伸びる」をモットーに、学問の独立性と市民性を備えた世界水準の高度な教育研究を推進し、次代の社会を支え、人類の理想の実現をはかる有能な人材を社会に輩出することを目的とします。

その目的の実現のため、研究科及び全学的な教育研究組織において、

- 最先端かつ高度な専門性と深い学識
- 高度な教養
- 高度な国際性
- 高度なデザイン力

を身につけた知識基盤社会のリーダーとなるべき人材を育成します。

大阪大学の教育目標のもと、情報科学研究科では、「我々人類が、豊かで充実した社会生活を営むためには、情報技術を核とする知識基盤社会の実現が必要不可欠であり、これを可能にする新しい技術や新しいシステムを生み出し、社会に変革をもたらすための学問が情報科学である」との理念に基づき、情報科学技術に関する最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけ、当該分野を牽引し、新たな学術領域を開拓する技術者、研究者、および、教育者等を輩出することを目的としています。

<博士前期課程>

- 最先端かつ高度な専門性と深い学識

授業科目及び研究活動により、情報科学技術分野や数学・生命科学などの関連分野、あるいは多様な応用分野における最先端かつ高度な専門知識ならびに技能を持った人材の育成を目指します。

- 高度な教養

授業科目や研究活動を通して、専門とする分野やその関連分野に関わる広範な教養を持った人材の育成を目指します。

- 高度な国際性

授業科目及び研究活動により、国際的な視野を持って活動できるコミュニケーション力を持った人材の育成を目指します。

- 高度なデザイン力

研究活動を通して、人と協働してプロジェクトを遂行できるマネジメント力を持った人材の育成を目指します。

授業科目や研究指導により、情報科学は常に人類の幸福につなげるべき技術であるという高い倫理観を持った人材の育成を目指します。

<博士後期課程>

- 最先端かつ高度な専門性と深い学識

授業科目及び研究指導により、情報科学技術分野や数学・生命科学などの関連分野、および応用分野における最先端かつ高度な専門知識ならびに技能を持った人材の育成を目指します。

- 高度な教養

授業科目及び研究指導を通して、専門とする分野やその関連分野に関わる広範な教養を持った人材の育成を目指します。

- 高度な国際性

国際性涵養科目及び研究指導により、国際的な研究活動ができるコミュニケーション力を持った人材の育成を目指します。

- 高度なデザイン力

演習やセミナー科目及び研究指導を通して、当該分野において自ら設定した課題を探究できる研究能力を持

ち、人と協働してプロジェクトを遂行できるマネジメント力を持った人材の育成を目指します。

授業科目や研究指導により、高い倫理観と世界的な視野で技術者・研究者を先導するリーダーシップ力を持ち、プロジェクトやビジネスプロジェクトを率いることが人材の育成を目指します。

〔情報科学研究科学学位授与の方針〕（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属研究科において定める専門分野に関する高度な知識・技能、教養、国際性及びデザイン力を身につけ、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上で審査及び試験に合格した学生に学位を授与します。

（学習目標）

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・専門分野における最先端かつ高度な知識・技能を有している
- ・課題解決のために最先端かつ高度な知識・技能を活用できる

○高度な教養

- ・高度で幅広い知識を有している
- ・複眼的、俯瞰的に思考し、多角的に評価できる

○高度な国際性

- ・異なる言語・文化を深く理解できる
- ・言語・文化の相違を超えて広く交流できる

○高度なデザイン力

- ・社会・学問における本質的かつ複雑多様な課題を発見し、解決の道筋を構想できる
- ・社会・学問における本質的かつ複雑多様な課題の発見・解決のために、様々な分野の人と協働できる

大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、情報科学研究科の博士前期課程および博士後期課程では、以下のように、体系的なコースワークにより所定の単位を修得した上で、必要な研究指導を受けて作成した学位論文を提出し、要件を満たす学生に、博士前期課程では修士（情報科学、理学、または工学）を、博士後期課程では博士（情報科学、理学、または工学）を授与します。

<博士前期課程>

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・当該分野に関する十分な学識を有している
- ・専攻分野における研究能力や高度の専門性が求められる職業を担うための最先端かつ高度な知識・技能を身につけている

○高度な教養

- ・修士学位論文を明瞭かつ平明に記述することができる
- ・職業人さらに社会人としての高い倫理観や専門性を社会で生かすための高度な教養を身につけている

○高度な国際性

- ・専攻分野において、国際的な視野を持ってコミュニケーションできる学力、コミュニケーション力を有している

○高度なデザイン力

- ・修士学位論文に専攻分野の発展に貢献する研究内容が含まれている

<博士後期課程>

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・博士学位論文の学術内容を含む分野に関する最先端かつ深い学識を有している
- ・専攻分野における研究能力や高度の専門性が求められる職業を担うための最先端かつ高度な知識・技能を身につけている

○高度な教養

- ・博士学位論文が明瞭かつ平明に記述することができる
- ・職業人さらに社会人としての高い倫理観や人類の幸福に資する研究開発を立案するための高度な教養を身につけている

○高度な国際性

- ・独立した研究者として世界的な視野で研究を遂行できる学力、コミュニケーション力を有している

○高度なデザイン力

- ・博士学位論文が、情報科学技術の学術領域において、未知の事象や事物の発見、新しい理論の構築と展開、新しい技術、機器、手法ならびにアルゴリズムの開発や発明と応用、新しい学問的概念の提出など、学理とその応用に関する重要な貢献を果たしている

〔情報科学研究科教育課程編成・実施の方針〕（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学は、学位授与の方針に掲げる高度な知識・技能などを修得させるために、専攻分野に関する科目並びに高度教養教育及び国際性涵養教育に関する高度な授業科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組合せた高度な授業と優れた研究指導を行います。

また、試験及び審査により学修成果を厳格に評価します。

大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、情報科学研究科の博士前期課程および博士後期課程では、以下のように教育課程を編成しています。

<博士前期課程>

<教育課程編成の考え方>

情報科学研究科の博士前期課程では、情報科学の学術領域を俯瞰し基礎的素養を涵養できる体系的なコースワークのために、専攻ごとの専門性を獲得するための基礎科目のほかに、周辺の重要分野を網羅した境界横断的な科目を配置しています。また、分野横断型融合科目や、産業界などの外部から講師を招いて最新の技術動向をカバーする特別講義科目、国内外の企業や研究機関へのインターンシップ科目、プロジェクト型演習科目など実践力を育てる科目を配置しています。さらに、高度な教養のために他専攻、他研究科等の科目を配置しています。国際性の涵養については、海外インターンシップ科目や世界の最先端研究を理解できるセミナー科目などを配置しています。このような専門教育・高度教養・国際性を涵養する情報科学技術に係わる高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

<学修内容及び学修方法>

講義を主体とする基礎科目、境界横断的科目、分野横断的科目や特別講義科目、実地体験を主体とするインターンシップ科目、学生の自主的な学びを特に求めるプロジェクト型演習科目やセミナー科目、さらに研究指導により、高度な技術者・研究者としての素養が身に付くように配慮するとともに、社会の多様な要請に対応した幅広い知識を修得できるようにしています。

<学修成果の評価方法>

シラバスに記載されている学習目標の達成度に対して、試験や課題、レポートなどの相応しい方法を用いて、厳格に評価します。

<博士後期課程>

<教育課程編成の考え方>

情報科学研究科の博士後期課程では、情報科学の学術領域における高度な専門的知識を最先端の学識へと深化させる体系的なコースワークのために、最先端の科学・技術を修得できる専門科目に加え、国内外の企業や研究機関等へのインターンシップ科目などを配置しています。国際性の涵養については、海外インターンシッ

ブ科目や世界の最先端研究を理解できるセミナー科目などを配置しています。このような教養・デザイン力・国際性を涵養する情報科学技術に係わる高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

<学修内容及び学修方法>

専門科目は内容に応じて、講義またはセミナー形式で実施します。インターンシップ科目は、実地体験を主体とし、事前学習、事後発表を行います。セミナー科目では学生が特に自主的に活動します。これらにより、新しい学術的価値を生み出す能力を養います。また、それを活用して新しい社会的価値を創出できる人材の育成を行います。

<学修成果の評価方法>

シラバスに記載されている学習目標の達成度に対して、試験や課題、レポートなどの相応しい方法を用いて、厳格に評価します。

博士前期課程・後期課程を通じて、留学生のために英語で学修できる情報科学英語特別コースを設置しています。留学生以外の学生もこのコースの科目を履修することができ、国際性を涵養することができるようにしています。

【情報科学研究科の入学受け入れの方針】（アドミッション・ポリシー）

情報科学技術は、シャノンの情報理論に始まり、その後ハードウェア、ソフトウェア、コンテンツへとその対象領域を拡大させ、さらにそれらを体系化することで抽象的で再利用可能な知識となり、独自の学問体系が構築されてきました。さらに、データから価値を見出し、知識を生み、そして知能へと進化を続けています。情報科学研究科では、情報科学の根幹はもちろん、生命科学・数学・数理科学などの情報科学の基盤となる分野や技術開発において優れた研究実績を生みだしています。これらを本研究科のもつシーズとしてさらに強化し、関連分野の発展を支え、研究成果を社会に還元することで、「地域に生き世界に伸びる」国際研究開発拠点を目指します。

このような理念に従い、本研究科は大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、以下のようにアドミッション・ポリシーを定めます。

<博士前期課程>

【求める人材像】

国内外を問わず、高度な情報社会の実現を可能にする情報科学技術の確立と深化を担う意欲を持った学生を求めます。このため、理工系の学部で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や展開に興味を持つ人を求めます。さらに、幅広い人材を求めていることから、生命科学・数学・数理科学などの勉学や研究に取り組む意欲がある人、すべての学術領域と関わり合うことから、情報科学技術以外の分野を学んできた人も求めます。国内に限定することなく、海外からも秀でた学生を求めます。

【入学選抜の基本方針】

上記のような人材を受入れ、また多様な学生を確保するため、本研究科は一般選抜、社会人特別選抜、推薦入学特別選抜、学部3年次学生を対象とする特別選抜、外国人留学生対象特別選抜、インフォメーションテクノロジー英語特別コース入学選抜（4月入学及び10月入学）を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜では、理工系の学部で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や展開に興味を持つ人等を筆記試験及び口頭試問等によって選抜します。

社会人特別選抜では、社会人で数学の勉学や研究に取り組む意欲がある人を口頭試問等によって選抜します。

推薦入学特別選抜では、情報科学技術以外の分野を学んできた人を口頭試問等によって選抜します。

学部3年次学生を対象とする特別選抜では、学部3年次学生を対象に筆記試験及び口頭試問等によって選抜します。

外国人留学生対象特別選抜やインフォメーションテクノロジー英語特別コース入学選抜（4月入学及び10月入学）では、海外から秀でた人を筆記試験や口頭試問等によって選抜します。

<博士後期課程>

【求める人材像】

国内外を問わず、より高度な情報社会の実現のため、情報科学技術の確立と深化の上に情報科学の学術領域にイノベーションを創起する意欲を持った学生を求めます。理工系などの研究科(博士前期課程・修士課程)で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や展開に興味を持つ人、情報科学の学術領域への貢献を強く願っている人、さらに幅広い人材を求めるために、生命科学・数学・数理科学などの情報科学以外の研究科等に在籍する人も受け入れます。国内に限定することなく、海外からも秀でた学生を求めます。

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受入れ、また多様な学生を確保するため、本研究科は一般選抜（４月入学及び１０月入学）、外国人留学生対象特別選抜（４月入学及び１０月入学）、インフォメーションテクノロジー英語特別コース入学者選抜（４月入学及び１０月入学）を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜（４月入学及び１０月入学）では、理工系などの研究科(博士前期課程・修士課程)で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や展開に興味を持つ人、情報科学の学術領域への貢献を強く願っている人、情報科学以外の研究科等に在籍する人等を口頭試問と必要に応じた筆記試験等によって選抜します。

外国人留学生対象特別選抜（４月入学及び１０月入学）やインフォメーションテクノロジー英語特別コース入学者選抜（４月入学及び１０月入学）では、海外から秀でた人を口頭試問と必要に応じた筆記試験等によって選抜します。

2. 専攻別募集人員

専 攻 名	募集人員
情報基礎数学専攻	1 2
情報数理学専攻	2 0
コンピュータサイエンス専攻	2 6
情報システム工学専攻	2 6
情報ネットワーク学専攻	2 6
マルチメディア工学専攻	2 6
バイオ情報工学専攻	2 4
合 計	1 6 0

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とし、外国人留学生については、修学に必要な日本語能力を有する者とし、ます。

- (1) 我が国の大学又は専門職大学を卒業した者及び令和7年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学も含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信

教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者で、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 短期大学、高等専門学校、各種学校等の卒業生やその他の教育施設の修了者で令和7年3月31日までに22歳に達する者で、かつ、本研究科において実施する個別の出願資格審査により大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

4. 出願方法

専攻名	志望専攻
情報基礎数学専攻	1 専攻を選んでください。
情報数理学専攻	
コンピュータサイエンス専攻	試験科目で「情報工学」を選択した場合は、 5 専攻のうちから、 1つの専攻を第1志望とし、残り4専攻から、第2志望、第3志望の専攻を選ぶことができます。
情報システム工学専攻	
情報ネットワーク学専攻	
マルチメディア工学専攻	
バイオ情報工学専攻	

(注)「情報工学」を選択した者は、受験票送付時に同封する「配属希望研究室調査票」に、入学願書に記入した第1～第3志望専攻までを再度記入して提出する必要があります。(入学願書に記入した第2～第3志望専攻名は受験票下部に表示されています。)

5. 出願資格審査

出願資格(9)～(10)により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を受ける必要があります。出願資格を認められた者のみが願書を提出できます。

申請書類は郵送してください。簡易書留郵便を利用し、申請書類等を一括して封筒(角形2号(33×24 cm))に入れ、提出期間内に**必着**するように郵送してください。

封筒の表に「**博士前期課程(一般選抜) 出願資格審査申請**」と**朱書き**してください。

提出期間	令和6年5月27日(月)～令和6年5月31日(金)
申請書類	出願に要する書類等一覧表に記載の No. 1～No. 3
提出先	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号 大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係

但し、やむを得ず持参する場合は、次の期間内に封筒(角形2号(33×24 cm))に入れて、大学院係へ提出してください。

令和6年5月29日(水)～令和6年5月31日(金)	9:00～11:30、 13:00～16:00
---------------------------	----------------------------

出願資格審査の結果は、令和6年6月11日(火)に郵送します。届かない場合は、出願期間に間に合うように大学院係へ問い合わせてください。

6. 出願手続

出願書類は郵送してください。簡易書留郵便を利用し、出願書類等を一括して封筒（角形2号（33×24 cm））に入れ、出願期間内に**必着**するように郵送してください。

封筒の表に「**博士前期課程（一般選抜）出願書類**」と朱書きしてください。

出願期間	令和6年6月24日（月）～令和6年6月28日（金）	
出願書類	出願資格（1）～（8）	出願に要する書類等一覧の No. 4～No. 16
	出願資格（9）～（10）で 出願資格審査に合格した者	出願に要する書類等一覧の No. 4～7 及び No. 11～16
提出先	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号 大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係	

但し、やむを得ず持参する場合は、次の期間内に封筒（角形2号（33×24 cm））に入れて、大学院係へ提出してください。

令和6年6月26日（水）～令和6年6月28日（金）	9：00～11：30、 13：00～16：00
---------------------------	----------------------------

なお、受験票は、令和6年7月5日（金）に郵便で送付します。7月12日（金）までに届かない場合は、大学院係まで連絡してください。

7. 検定料

30,000 円

支払場所 **最寄りの銀行窓口**（ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。）

なお、ゆうちょ銀行での振り込みはできません。

支払方法 本研究科所定の振込用紙を用いて指定口座に振り込んでください。振込手数料は振込者負担です。

銀行から収納印をうけた検定料振込証明書を所定用紙に貼付のうえ、提出してください。

もしくは、検定料納入システムを利用し、クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy 利用の銀行決済等により検定料を納入することも可能です。詳細は本研究科ホームページ（トップページ/受験生の方へ/入試情報/令和7年度（2025年度）学生募集要項）に掲載の「入学検定料支払いの流れ」を参照してください。

なお、国費外国人留学生〔日本政府（文部科学省）から奨学金の支給決定通知を受けた、又は既に支給されている留学生〕として出願する場合は、支払いは不要です。

また、日本国内で大規模災害により被災した志願者に対し、検定料免除の特別措置を講じます。

詳細は本研究科ホームページ（トップページ/受験生の方へ/入試情報/入試に関する情報）に掲載の「大阪大学入学者選抜における検定料免除について」を参照してください。

検定料免除を申請する場合は、検定料を払い込まず検定料免除申請書等必要書類を提出してください。

8. 選抜方法

選抜は、学力試験、出身（在籍）大学の成績証明書及び TOEIC、TOEFL の成績等を総合して行います。（情報基礎数学専攻は、TOEIC、TOEFL の成績を除く。）

学力試験は、筆記試験及び口頭試問により行います。

情報基礎数学専攻を除くその他6専攻の志願者は、TOEIC 公開テストの成績を提出してください。TOEIC の成績の提出が困難な場合には、TOEFL の成績でも提出可能です。

TOEIC、TOEFL の成績は、出願時あるいは入学試験初日に原本を提出してください。写しは不可です。出願時に提出した場合でも入学試験初日の再提出を認めます。

出願時に TOEIC、TOEFL の成績を未提出の者及び出願時に提出し再提出する者は、入学試験初日に各試験室において、試験監督者の指示により成績原本を提出してください。

試験日時	情報基礎数学専攻	筆記試験	令和6年7月27日(土)	10:00～16:30
		口頭試問	令和6年7月28日(日)	9:00～
	情報数理学専攻	筆記試験	令和6年7月27日(土)	9:00～
		口頭試問	令和6年7月28日(日)	10:00～
	その他の5専攻	筆記試験	令和6年7月27日(土)	9:00～
		口頭試問	令和6年7月28日(日)	12:00～
試験場所	情報基礎数学専攻	吹田地区 情報科学研究科、コンベンションセンター		
	情報数理学専攻			
	コンピュータサイエンス専攻			
	情報システム工学専攻			
	情報ネットワーク学専攻			
	マルチメディア工学専攻			
	バイオ情報工学専攻			
試験科目及び時間は、別紙記載のとおりです。その他、試験に関する詳細は、受験票送付時に通知します。				

9. 合格者発表

令和6年8月19日(月)午後2時から、吹田地区の情報科学研究科A棟内1階掲示板において受験番号で発表のうえ、**合否通知書を郵送します。**

なお、電話・メール等による合否の問い合わせには応じません。

10. 追加合格

欠員が生じ追加合格を行う場合は、令和7年3月3日(月)以降に追加合格者に電話等で連絡(※大学院入学願書に記載の電話番号宛)します。追加合格の実施状況(実施の有無のみ)は、本研究科ウェブサイトでお知らせします。電話・メール等による問い合わせには応じません。

なお、追加合格者の入学手続方法等の詳細は、該当者に電話等で連絡します。

11. 入学時に必要な経費

入学科 ……282,000 円

授業料 ……535,800 円(年額)

入学後、半期分(267,900 円)ずつ口座振替により納入することとなります。

- (1) 入学科、授業料の額は、令和6年4月現在のものです。これらは改定することがあります。
令和7年度の必要経費は、入学手続時までに別途お知らせいたします。
- (2) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
- (3) 入学後、国費外国人留学生として在学する場合には、入学科、授業料は不要です。

12. 優秀な私費外国人留学生に対する授業料免除制度(特待留学生授業料免除制度)について

大阪大学では、研究力の強化と留学生の受入増進のために大学院入学試験において極めて優秀であると認められる私費外国人留学生に対する授業料免除制度(特待留学生授業料免除制度)を実施しています。

この入試は特待留学生授業料免除制度の対象となっています。本入試に合格した上で、極めて優秀と認められた留学生は本制度による授業料免除の候補者となります。詳細は対象者あてに連絡します。

13. 個人情報の取扱い

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他個人情報は、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。

なお、合格者の個人情報は合格発表日以降、入学後に履修可能な教育プログラムを案内するために利

用することがあります。

また、入学者の個人情報、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。

- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。
- (3) 上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。
この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出していただいた個人情報の全部または、一部を提供します。

1 4. 安全保障輸出管理について

大阪大学では、「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づき、安全保障輸出管理を行っています。特に外国人留学生及び一部の日本人学生については受入れ前の審査を必須としており、その審査の結果によっては、希望する教育が受けられない場合や希望する研究ができない、又は希望する教育・研究内容の変更を求められる場合があります。

1 5. 注意事項

- (1) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、原則として、令和6年5月31日（金）までに大学院係へ連絡してください。
- (2) 出願書類に不備がある場合は、原則として受理しません。
- (3) 出願手続後は、いかなる事情があっても願書記載事項の変更は認めません。
- (4) 入学手続は、令和7年2月27日（木）～2月28日（金）に行います。詳細は、合格者に後日通知します。
- (5) 令和7年3月31日までに入学資格（大阪大学大学院学則第20条）を満たさない者は、入学許可を取り消します。また、入学願書の履歴、入学資格等につき虚偽の記載をした者は、入学手続後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (6) 振り込まれた検定料は、次の場合を除き返還しません。
 - ① 出願したが、受験資格がなかった場合
 - ② 出願書類受付期間終了後に出願書類が到着したため、受理されなかった場合
 - ③ 出願書類に不備があり、受理されなかった場合
 - ④ 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ⑤ 検定料を、誤って二重に振り込んだ場合
 - ⑥ その他、大学が返還を認めた場合上記の場合は、返還請求を行ってください。返還請求の方法は、本研究科大学院係までお問い合わせください。
- (7) 本募集要項でいう「外国人留学生」は、在留資格「留学」を有する外国人のことです。なお、現在外国に在住している者は、入学時に「留学ビザ」を取得し、「外国人留学生」として入学することとなります。
- (8) 不測の事態に伴う入学試験実施への影響と対応は、必要に応じて本研究科ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。
- (9) 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、本募集要項記載の内容から変更することがあります。最新の情報は、本研究科ホームページにて適宜確認してください。

1 6. その他

- (1) 入学者が募集人員を下回ることが見込まれる専攻は、第2次募集を行うことがあります。
- (2) 情報科学研究科の博士前期課程の入学試験は、当該入学試験の他「社会人対象特別選抜（情報基礎数学専攻）」「推薦入学特別選抜」「学部3年次学生を対象とする特別選抜」「外国人留学生対象特別選抜」「インフォメーションテクノロジー英語特別コース」があります。

令和6年3月

《問い合わせ先》

大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号

電話: 06-6879-4508・4509 (直通)

E-mail: jyouhou-daigakuin@office.osaka-u.ac.jp

情報科学研究科ホームページ

URL: <https://www.ist.osaka-u.ac.jp/>

出願に要する書類等一覧

(注意事項 1) 記入の際、消すことができる筆記具 (例: 鉛筆、消すことができるボールペン等) は使用しないでください。

(注意事項 2) 日本語・英語以外の証明書、文書、資料等については、日本語又は英語訳を添付してください。

● 出願資格審査の必要書類

No.	書 類	内 容
1	出願資格審査書 (履歴)	所定の用紙に必要事項を記入してください。
2	出願資格審査書 (研究業績)	所定の用紙に必要事項を記入してください。
3	成績証明書	最終学歴の成績証明書、又はこれに準ずるもので、教育機関の長が証明したもの

● 出願時の必要書類

4	大学院入学願書	入学願書に必要事項を記入し、写真は、3 か月以内に単身撮影したものを貼付してください。願書には、原則として戸籍に記載の氏名 (外国人の場合は住民票又は旅券 (パスポート) に記載の氏名。アルファベット表記) を記入してください。
5	受験票・写真票	所定の用紙に写真 (3 か月以内に単身撮影) を貼付し、必要事項を記入してください。
6	研究希望調書	所定の用紙 (別添ワードファイル) に必要事項を記入してください。
7	TOEIC の成績あるいは TOEFL の成績 (TOEIC の公式認定証あるいは TOEFL の受験者用控えスコアレポート)	<p>(情報基礎数学専攻の志願者) 英語の試験を実施しますので、提出する必要はありません。</p> <p>(情報基礎数学専攻以外の志願者) 令和 4 年 7 月以降の「TOEIC 公開テストの公式認定証 (Official Score Certificate) の原本」又は「TOEIC 公開テストのデジタル公式認定証を印刷したもの」を出願時あるいは入学試験初日に提出してください。「TOEIC 公開テストの公式認定証 (Official Score Certificate) の原本」の場合、写しは不可です。</p> <p>なお、TOEIC の成績の提出が困難な場合は、令和 4 年 7 月以降の TOEFL の受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) でも可能です。TOEFL の受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) は、「郵送で受験者の手元に届くスコアレポート」及び「自身の ETS アカウント上でダウンロードできるスコアレポートを印刷したもの」を認めます。「郵送で受験者の手元に届くスコアレポート」の場合、写しは不可です。TOEIC-IP テスト、TOEIC Speaking & Writing Tests、TOEIC Speaking Test、TOEIC Bridge Test、及び TOEFL-ITP テストは認めません。</p> <p>出願時に提出した場合でも入学試験初日の再提出を認めます。</p> <p>詳細は本研究科ホームページ (トップページ/ニュース&トピックス) に掲載の「令和 7 年度入学 (令和 6 年度 10 月入学を含む) 大学院入試・英語試験についてのお知らせ」を参照してください。</p> <p>なお、TOEFL iBT テストのスコアについては、Test Date スコアのみを出願スコアとして活用し、MyBest スコアは活用しません。</p> <p>おって、スコアの改ざん等を行った者は、入学後であっても入学を取消したり、当該課程の学位取得後であっても学位を取消することがあります。</p>
8	卒業 (見込) 証明書	出身 (在籍) 大学長又は学部長の発行したもの。但し、本学理学部・工学部・基礎工学部を卒業見込みの者及び出願資格審査合格者は提出不要です。
9	成績証明書	出身 (在籍) 大学長又は学部長の発行したもの。但し、本学理学部・工学部・基礎工学部を卒業見込みの者及び出願資格審査合格者は提出不要です。
10	学士の学位証明書	(独) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。なお、(独) 大学改革支援・学位授与機構に学士の学位を申請する予定の者は、短期大学長又は高等専門学校長の学位授与申請 (予定) 証明書を提出してください。

11	住民票又は在留カードの写し	<p>日本に在住する外国人の志願者は、市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」又は「在留カードの両面の写し」を提出してください。日本人は提出不要です。</p> <p>*出願者以外の世帯員については、証明不要です。</p> <p>(注) 法務大臣が日本での永住を認めた者は、提出する必要はありません。</p>
12	日本語能力を確認できる証明書	<p>外国人留学生は、次の書類のうち、いずれか1つを提出してください。但し、日本の大学を卒業した者は提出不要です。</p> <p>①受入れ予定の指導教員が証明したもの(様式任意)</p> <p>②日本留学試験結果通知の写し(受験年度の指定はありません)</p> <p>③日本語能力試験等の結果通知書の写し(受験年度の指定はありません)</p> <p>④日本語学校等の成績証明書</p> <p>⑤本学国際教育交流センターが発行する証明書</p>
13	国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生は提出してください。但し、本学に在籍中の者は提出不要です。
14	検定料振込証明書 又は検定料収納証明書	<p>事前に、検定料30,000円を指定口座に振り込みのうえ、検定料振込証明書を所定用紙に貼付してください。検定料納入システムにより納入する場合は、検定料収納証明書を提出してください。</p> <p>検定料免除を申請する場合は、検定料を払い込まず、検定料免除申請書等必要書類を提出してください。</p>
15	封筒(受験票送付用)	<p>封筒 角形2号(33×24 cm)に志願者の住所・氏名を明記し140円分の切手を貼付してください。</p> <p>なお、日本国外に在住する外国人の志願者は不要です。</p> <p>万が一、出願後に志願者の住所に変更がある場合、令和6年7月3日(水)までに大学院係まで連絡があったものについてのみ対応します。</p>
16	発送票	所定の用紙を提出してください。

I 試験科目

専 攻 名	試 験 科 目
情報基礎数学専攻	<p>【 筆記試験 】</p> <p>① 英 語</p> <p>② 数 学</p> <p>【 口頭試問 】 所定の時刻に指定の受験者控室に集合してください。</p>
情報数理学専攻	<p>【 筆記試験 】</p> <p>情報数理学 以下の4分野から2分野を試験時に選択</p> <p>1 情報基礎 アルゴリズム、データ構造、計算量、グラフ・ネットワーク 等</p> <p>2 数理基礎 線形計画、非線形計画、確率分布、推定・検定 等</p> <p>3 数学解析 複素解析、フーリエ解析、常微分方程式、ラプラス変換 等</p> <p>4 情報物理 静電場、電流と磁場、光の性質、光の干渉・回折 等</p> <p>【 口頭試問 】 所定の時刻に指定の受験者控室に集合してください。</p>

<p>コンピュータサイエンス専攻</p> <p>情報システム工学専攻</p> <p>情報ネットワーク学専攻</p> <p>マルチメディア工学専攻</p> <p>バイオ情報工学専攻</p>	<p>【 筆記試験 】</p> <p>受験者は、次の（A）又は（B）のどちらか1つの科目を選択してください。願書の「選択科目名」欄には、「情報工学」又は「生物情報」のいずれかを必ず記入してください。</p> <p>「情報工学」を選択し、試験に合格した場合は、バイオ情報工学専攻の2講座（代謝情報工学講座、バイオ情報計測学講座）を除くすべての講座のいずれかに入学することができます。</p> <p>「生物情報」を選択し、試験に合格した場合は、バイオ情報工学専攻の2講座（代謝情報工学講座、バイオ情報計測学講座）のいずれかにのみ入学することができます。受験に際しては、必ず受入れ予定教員に連絡してから受験してください。</p> <p>（A） 情報工学 [情報工学を選択した場合の専門科目の出題範囲]</p> <p>専門科目 [必須問題]</p> <p>1 アルゴリズムとプログラミング アルゴリズム設計、手続き型プログラム、計算量、データ構造、再帰、整列アルゴリズム、探索アルゴリズム 等</p> <p>2 計算機システムとシステムプログラム 計算機システム分野： 数の表現、演算制御、命令実行制御、記憶制御、入出力制御 等 システムプログラム分野： プロセス管理、処理装置管理、記憶管理、入出力管理、ファイル管理 等</p>
---	---

	<p>専門科目 [選択問題] <u>以下の5科目から2科目選択</u></p> <p>1 離散構造 集合・命題、関係、漸化式、論理関数、ブール代数、最簡積和形、命題論理、述語論理、導出原理、グラフ 等</p> <p>2 計算理論 語・言語、有限オートマトン、正規表現・言語、形式文法とそのクラス、導出・認識・構文解析、文脈自由文法・言語、プッシュダウンオートマトン 等</p> <p>3 ネットワーク 情報源符号化・通信路符号化、階層化モデル、プロトコルとインターフェース、各層プロトコルの設計・仕様・評価手法、ネットワークアプリケーション 等</p> <p>4 電子回路と論理設計 ダイオード・トランジスタ、MOSFET、アナログ電子回路、演算増幅器、記憶素子、数の表現、論理代数と論理関数、組合せ論理回路、順序回路、算術演算回路 等</p> <p>5 数学解析と信号処理 微分方程式、フーリエ級数、ラプラス変換、複素関数、信号の演算、連続時間信号のフーリエ解析、サンプリング、離散時間信号のフーリエ解析、Z変換、フィルタ 等</p> <p>(B) 生物情報 [生物情報を選択した場合の専門科目の出題範囲]</p> <p>専門科目：基礎生物学（Essential 細胞生物学（南江堂）の内容をもとに出題します。）</p> <p>【 口頭試問 】 所定の時刻に指定の受験者控室に集合してください。</p>
--	--

(注) 受験者控室は 受験票送付時に通知します。

II 試験時間割

試験室及び口頭試問についての詳細は、受験票送付時に通知します。

● 情報基礎数学専攻

試 験 日	試 験 科 目		試 験 時 間
令和6年7月27日（土）	筆 記 試 験	英 語	10:00 ～ 12:00
		数 学	13:30 ～ 16:30
令和6年7月28日（日）	口 頭 試 問		9:00 ～ (受験者控室に集合してください。)

● 情報数理学専攻

試 験 日	試 験 科 目		試 験 時 間
令和6年7月27日（土）	筆 記 試 験	情報数理学	9:00 ～ 12:00
令和6年7月28日（日）	口 頭 試 問		10:00 ～ (受験者控室に集合してください。)

● コンピュータサイエンス専攻

情報システム工学専攻
情報ネットワーク学専攻
マルチメディア工学専攻
バイオ情報工学専攻

(A) 情報工学

試 験 日	試 験 科 目		試 験 時 間
令和6年7月27日（土）	筆 記 試 験	情報工学	9:00 ～ 12:00
令和6年7月28日（日）	口 頭 試 問		12:00 ～ (受験者控室に集合してください。)

(B) 生物情報

試 験 日	試 験 科 目		試 験 時 間
令和6年7月27日（土）	筆 記 試 験	生物情報	9:00 ～ 12:00
令和6年7月28日（日）	口 頭 試 問		12:00 ～ (受験者控室に集合してください。)